

はたららく No.14

2021 February

特集 障害者雇用の取組紹介

働きがいをつくる

株式会社 王将フードサービス

障害者政策推進トップフォーラム
就労連携/農福連携コーディネーター
障害者はたららく応援団なら
障害のある人の就労・生活支援
法定雇用率の引き上げ
/中小事業主への認定制度

令和2年
奈良県の障害者実雇用率全国第1位

奈良県 奈良労働局
(障害者施設で作成しました)

(写真) 餃子の王将 大和新庄店 で働く彦坂さん(左)と小林さん(右)

障害者就労支援機関

公共職業安定所

ハローワーク奈良	〒630-8113 奈良市法蓮町 387(奈良第3 地方合同庁舎内)	TEL 0742-36-1601 FAX 0742-36-1608
ハローワーク大和高田	〒635-8585 大和高田市池田 574-6	TEL 0745-52-5801 FAX 0745-53-4181
ハローワーク桜井	〒633-0007 桜井市外山 285-4-5	TEL 0744-45-0112 FAX 0744-45-3990
ハローワーク下市	〒638-0041 吉野郡下市町下市 2772-1	TEL 0747-52-3867 FAX 0747-52-0406
ハローワーク大和郡山	〒639-1161 大和郡山市観音寺町 168-1	TEL 0743-52-4355 FAX 0743-55-0670

障害者就業・生活支援センター

なら障害者就業・生活 支援センター コンパス	〒630-8441 奈良県奈良市神殿町 656-4(2 階)	TEL 0742-93-7535 FAX 0742-93-7537
なら東和障害者就業・生活 支援センター たいよう	〒633-0091 桜井市桜井 232 ヤガビル 3 階 302 号室	TEL 0744-43-4404 FAX 0744-43-4404
なら西和障害者就業・生活 支援センター ライク	〒639-1134 大和郡山市柳 2-23-2	TEL 0743-85-7702 FAX 0743-85-7703
なら中和障害者就業・生活 支援センター ブリッジ	〒634-0812 橿原市今井町 2-9-19 今井長屋 1	TEL 0744-23-7176 FAX 0744-23-7181
なら南和障害者就業・生活 支援センター ハロー Job	〒638-0821 吉野郡大淀町下淵 158-9	TEL 0747-54-5511 FAX 0747-54-5501

独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構奈良支部

奈良障害者職業センター

奈良障害者職業センター	〒630-8014 奈良市四条大路 4-2-4	TEL 0742-34-5335 FAX 0742-34-1899
-------------	----------------------------	--------------------------------------

独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構

奈良支部

奈良支部	〒634-0033 橿原市城殿町 433 奈良職業能力開発促進センター(ポリテクセンター奈良)内	TEL 0744-22-5232 FAX 0744-22-5234
------	---	--------------------------------------

発行元	奈良県福祉医療部障害福祉課 〒630-8501 奈良市登大路町 30 番地 TEL 0742-27-8514 FAX 0742-22-1814	奈良労働局職業安定部職業対策課 〒630-8570 奈良市法蓮町 387 番地 奈良第3 地方合同庁舎 2 階 TEL 0742-32-0209 FAX 0742-32-0225
-----	---	--

作成	社会福祉法人ぶろぼの 〒630-8115 奈良市大宮町 3 丁目 5-39 第 3 やまと建設ビル 302 号 TEL/FAX 0742-81-7032
----	--

令和3年2月発行



全国に4箇所工場があり、久御山工場は旗艦工場としての役割があります。

王将フードサービスでは、特例子会社設立以前より障害のある人の雇用に取り組みしてきましたが、今後の社会的使命の達成および、積極的に活躍できる場を提供したいという思いから、2017年特

経営理念と設立の経緯

例子公司設立に踏み切りました。グループ一丸となって、障害のある人の人生に企業として責任をもつて、育成・指導ができる体制を整える。また、会社の戦力としてなくてはならない存在を目指し取組を強化してきました。経営理念にある「お客様から褒められる店づくりを支援する」を実現すべく、毎日、業務に励んでいます。設立以来、特別支援学校や職業訓練校へ訪問し、仕事内容、職場環境を説明し、積極的に職場実習を受入れ、正社員としての新規採用を続けています。



餃子の具材、キャベツを加工するラインで働く王将ハートフルの社員

久御山工場にて

特例子会社が動き出すにあたり、現場のキーパーソンとして選任されたのが河邊和弥さん。元々障害者雇用については全くの素人でしたが、2017年4月に指導員2名、社員6名でスタートしました。「最初は伝えたいことが伝わらなかった。業務終了後には私と指導員で毎日ミーティングをして次の日の作戦を練り、挑戦してはミーティングの繰り返し。上手くいかないことばかりで悩みは尽きませんでしたよ。」と当時を振り返ります。



株式会社

王将フードサービス



特例子会社とは？

事業主が障害者の雇用に特別の配慮をした子会社を設立することです。一定の要件を満たす場合には、特例としてその子会社に雇用されている労働者を親会社に雇用されているものとみなして実雇用率を算定することができます。

王将フードサービスが特例子会社を設立

株式会社王将ハートフルは、「餃子の王将」で知られる株式会社王将フードサービスが100%出資する特例子会社として、2017年に設立されました(以下、株式会社は略)。

王将フードサービスは現在730店舗以上の店舗を展開しています。工場では主力製品である「餃子」を中心に製造し、新鮮な餃子を毎日店舗へ届けています。工場は全国に4箇所あり、旗艦工場の一つである久御山工場では、王将ハートフルの従業員が餃子に使われるキャベツ、ニンニク等の加工をすべて担っています。

今回は、久御山工場を訪問し、特例子会社における障害のある人の雇用について取組を伺うと共に、奈良県葛城市にある「餃子の王将大和新店」を訪ね、店舗の障害者雇用についてお話を伺いました。



河邊和弥さんは、「障害があるなしではなく人の部分を見ています。彼らの成長は、指導する側にとってもやりがいとなりますし、会社にとっては戦力アップになります」と話されます。

そこから一步踏み出し、足りない知識や経験を補うため、障害者生活相談員認定講習を皮切りに、各関係機関が行っているセミナーにも積極的に参加、先駆的な他社の訪問を通して、社員達にとって働きやすい形を模索していきました。「正解なんてありません。今いる社員達と正面から向き合い、トライ&エラーを繰り返す。大事なことは、出来る方法を考えること」と河邊さん。そうした考えのもと、文字が得意な人は文章だけの作業手順書、絵や写真の方がわかりやすい人にはイラスト付きの作業手順書、その方の苦手なポイントだけを記したその人だけの作業



ハートフル事業部の大滝容子さんは、「共に働く機会は、様々な人にいい影響を与えます」と話されます。



ハートフル事業部副部長の太田弘幸さんは、「スイッチが入ったように彼らが成長する時があるんですよ」と話されます。



サブリーダーの右田晟矢さん
特別支援学校卒業後に入社



リーダーの岩前克弥さん
特別支援学校卒業後に入社



永年勤続者表彰記念式典

株式会社王将フードサービスの特別子会社
株式会社王将ハートフル
久御山工場

京都府久世郡久御山町井東荒見1-1
TEL: 0774-41-1106
経営主体: 株式会社王将フードサービス
障害のある従業員: 26名(全体29名)



働き甲斐をつくる

「3年間で6人から29人にまでハートフル社員が増えてきました。働きに応じて会社として能力を認めていくことができるよう、等級制度を取り入れました。新入社員は1等級、リーダーなら4等級になりま

す」(太田弘幸さんハートフル事業部副部長)。工程には初心者向きの単純作業から経験が必要なものもあり、リーダーになるには全ての工程に習熟してはなりません。現在、リーダー1名、サブリーダー1名にその役割が与えられています。できる仕事が増えていくことでステップアップすることができ、評価されるとリーダーになることができるというシステムが、業務に取り組む意欲を喚起しています。これらの他、オリエンテーションで学んだり、歓迎会、食事会などの催事で交流する機会を設けたりしています。また、永年勤続者を社長名で表彰することも行っています。このような取組が高い定着率につながっているのではないのでしょうか。

王将ハートフルでの障害者雇用のノウハウは、店舗採用でも生かされています。次に奈良県内の店舗で障害者雇用の取組を紹介します。

手順書が用意されており、色々な視点から「出来る」をサポートしておられました。また評価は100を超える項目に細分化し可視化することで、今何が出来て何が出来ていないのか、またこれから何を目標にスキルアップしていくのかが一目で分かるように工夫がされていました。

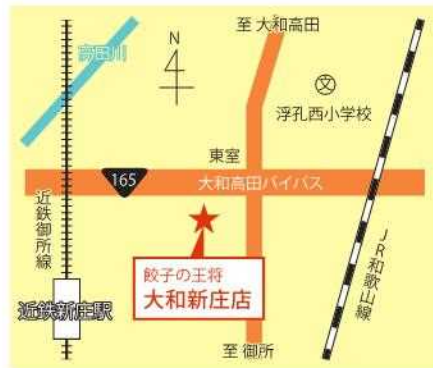
特に毎日欠かさないのは社員全員に声を掛けること。自分を表現することが苦手な方が多いので、普段の様子を知ることがとても重要です。下を向いていることが多い、後ろ姿を見ると肩が落ちていて、逆に楽しい、楽しみなことがあって気持ちがふわふわしている等、ちょっとした変化に気付くことが出来ます。そのちょっとした変化が大きな変化への予兆かもしれないので、時間を掛けて話を聴いています。

コロナ禍のなかで
コロナ禍の影響を受け、通常どおりのスケジュールで職場見学や職場実習を行うことが難しい状況にある中、学校の生徒たちは3月に卒業の日を迎えます。ご本人や学校、親御さんの間に不安が広まっているようなので5月に、各学校に感染防止に最善を尽くす旨の文書を添えて、新規

採用の募集要項を学校に送り、「今年も採用します」という会社の意向を伝えました。見学会が再開できたのは7月になってからでした。「例年なら年内に採用活動が終了しますが、今年度はもっと後ろにずれ込むことは覚悟していました。4月入社が5月になっても構わないと。食品会社でするので、手洗い、マスクの着用は普段からしていますが、健康チェックシートを本人・家族ともに1週間前からつけてもらい、出勤時にも健康チェックをして、少しでも体調に違和感があれば実習を中止するなどのルールを決めました」(大滝容子さんハートフル事業部)。



餃子の王将 大和新庄店にて



餃子の王将 大和新庄店

奈良県葛城市東室149-1
TEL 0745-69-9806



村田信悟さん
(餃子の王将大和新庄店 店長)

「当店では、良い意味で特別扱いはしていません。忙しいときはつい言葉が荒くなることもあります。後で分かりやすくフォローするようにしています。」



大井政樹さん
(王将フードサービス 指導員)

「私自身が障害者なので、発言したことを聞いてもらいやすいと思っています。両親に大変な心配をかけたので、親御さんに安心してもらえるよう、役に立ちたいと思っています。」

「もし辛い思いをして辞めてしまっても、本人にとっても学校との関係においてもよくない。障害のある人を受け入れることができる店かどうかは大井が熟知しています。」と村田さん。大井さんへの信頼が伺えます。

奈良県内の橿原神宮店、広陵店でも採用が進み、更に他店や他県への広がりも期待されます。また、王将ハートフルにおいても、若い社員が定年まで勤務できる体制を整え、将来は何人もの障害のある人がリーダーを務めることができることを視野に入れながら、業務の幅を広げていこうとされています。

王将フードサービスは、障害者雇用にも正面から向き合い、障害のある人の育成ノウハウを積み上げることで、眠っていた働き手の可能性を発掘していこうとされています。王将の餃子には、王将ハートフルで加工した素材が入っています。王将の餃子を召し上げる際は、彼らの頑張り思いを寄せていただければ嬉しく思います。



小林さん
奈良県立高等養護学校(H31.3卒業)

「実習のとき丁寧に指導していただいたことが決め手となって王将への就職を希望しました。洗い物が早くできたときに嬉しいです。」



彦坂さん
奈良県立高等養護学校(R2.3卒業)

「仕事は楽しいです。働いてみて、野菜を切ることが好きになりました。先輩の小林さんを知っていたので安心できました。」



王将ハートフル設立後まもなく、王将フードサービスの営業部署から「会ってほしい社員がいる。障害者雇用の仕事を一緒にできないか。」と話がありました。その社員とは、現在奈良県エリアに所属する大井政樹さんです。大井さんは奈良県内で長く店長を務め、多くの従業員を育てた実績を持っています。6年前、病を発症し右半身に後遺症が残りました。現在は店長職から離れ、エリア内の人材育成、技術向上、衛生管理など多岐に渡って活躍しています。このきっかけが店舗における障害者雇用を大きく前進させました。これまでの豊富な店舗経験を生かして障害者雇用の指導的役割を担い、障害のある従業員と店舗との間に立って双方を支援しています。

奈良県葛城市にある餃子の王将大和新庄店では、令和元年と同2年に2名が入社しました。店長の村田信悟さんと大井さんは、店長当時から長い付き合いです。



日本を美味しく

餃子の王将

大和新庄店を訪ねて

特例子会社でのノウハウを店舗における障害者雇用にかかす



店舗採用が進む奈良

令和2年度「障害者はたらく応援団なら」登録証の交付

「障害者はたらく応援団なら」は、奈良県と奈良労働局が締結している雇用対策協定の取組のひとつとして、障害者雇用の支援を強化するために、平成26年2月に創設し、奈良労働局と共同で運営しています。

新規登録 社会福祉法人 奈良市和楽園

《事業所紹介》

昭和7年10月に方面委員（現在の民生児童委員）により設立された高齢者施設で、奈良市古市町で養護老人ホーム、特別養護老人ホーム及びケアハウスを運営され、短期入所事業、企業主導型保育事業などを行っています。県内の特別支援学校やNPO法人などと連携して障害のある人の職場実習の積極的な受け入れや雇用に取り組むとともに、職場定着を図るため障害者就労支援機関と連携して、職場での課題解決に取り組まれています。現在、知的障害者3名、高次脳機能障害者2名を雇用されています。（当日配布資料より）



令和2年度 奈良県障害者雇用優良事業所等知事表彰

奈良県では、障害者を積極的に雇用した事業所、障害者の雇用促進に著しく貢献した団体又は個人及び職業自立について成果の著しい障害者に対して知事表彰を行いその努力をたたえとともに、これを県民一般に周知し障害者の雇用促進と職業の安定に資するものとするために知事表彰を行っています。

知事表彰受賞者 株式会社ホテルマネジメント（ホテル日航奈良）

《事業所紹介》

同社は、株式会社オークラ ニッコー ホテルマネジメントより商標権の貸与や運営面での協力を得て、平成17年7月1日にリニューアルオープンしたホテル日航奈良を経営されています。県内の特別支援学校や就労支援機関と連携し、障害のある人の職場実習の受け入れや障害のある人の雇用に積極的に取り組まれています。現在、身体障害者3名、知的障害者2名、精神障害者7名を雇用されています。また、平成27年度に「障害者はたらく応援団なら」に登録されています。（当日配布資料より）



荒井知事コメント



- 保護者には、就労支援だけでなく一生涯を通じた生活支援をしてほしいという願いがあると思っています。
- 就労支援と生活支援を分けるのではなく、障害のある人の人生全体を一体的に支援することができる組織をどのように作っていくのか。地方でこそ一体的な組織運営ができると思うので追求していきたいと考えています。

障害者政策推進会議

コロナと共存する上での障害のある人への就労支援のあり方の工夫が必要

- 県内雇用者の皆さまのおかげで、奈良県の障害者雇用率は、全国1位に返り咲きました。（平成28、29年度全国1位、30年度2位、令和元年度全国1位に返り咲き）
- 引き続き全国トップクラスを維持しつつ、さらに職場での定着と安定的な収入の確保、キャリアアップにより、働く障害のある人の満足度を上げることを目指します。
- コロナ禍のもと、働き方が多様化（テレワーク、短時間勤務、フレックス制、時差出勤など）している中で、障害のある人の就労支援についても、取り組み方に工夫が必要と考えています。

障害のある人が就労により自立した生活を送るために

- これまでから、障害のある人の就労した生活の向上のため、以下の取組を実施してきました。
 - ・単に就職するだけでなく、その職場で定着できるよう、職場実習を通して障害のある人の適性やニーズと企業ニーズのマッチング
 - ・就職後約1年程度、就労連携コーディネーター（障害福祉課）や特別支援学校の教員が定期的に訪問し、就労などの状況を確認した上で、その後のフォローを障害者就業・生活支援センターに引き継ぎ、その後は、体調管理、余暇の過ごし方、金銭管理などで特に支援が必要な障害のある人について障害者就業・生活支援センターが支援

障害のある人が誇りをもって人生を歩むことができ、誰もが社会の一員として包み込まれお互いに支え合う地域社会の実現を目指し、障害者政策を総合的に推進するため、県内各界のトップが障害者の課題を共有し、取組を推進できるよう「奈良県障害者政策推進トップフォーラム」を開催しています。10回目となる今回は、令和2年9月1日（火）に奈良ロイヤルホテルにて開催しました。

奈良県障害者政策推進トップフォーラム



農福連携コーディネーターの活動

障害者施設における農業分野での就労を促進するため、コーディネーターを配置し、農作業等の仕事を求める障害者施設と人手を求める農業者のマッチングを支援します。



農業分野で働きたいと思いのある障害のある人に一粒の種まきからの支援を提供していきたいと考えています。

● 職場体験実習の実施

《実習先》

- ・柿農家(西吉野町):柿の収穫作業体験
- ・小菊農家(平群町):小菊出荷作業、倒伏防止支柱撤去作業体験
- ・苺農家(平群町、明日香村):苗植え付け作業、ポット土入れ作業体験
- ・軟弱野菜農家(奈良市、宇陀市):葉物など軟弱野菜の収穫作業体験
- ・金魚養殖業(大和郡山市):養殖池清掃、出荷準備作業体験



小菊農家での職場体験実習の様子

● 農福連携マルシェ(販売会)の開催

- ・開催日:令和2年11月7日(土)・8日(日)
- ・場所:イオンモール橿原 サンシャインコート
- ・概要:障害者施設や農業者が生産する農産物や加工品の販売、事業所の活動紹介



農福連携マルシェ(イオンモール橿原)



農福連携マルシェ 事業所パネル展示

● 専門家派遣

農作業に取り組む障害者施設へ専門家を派遣し、農産加工品の新規開発や農産物の販路拡大を支援します。

● 人材育成研修

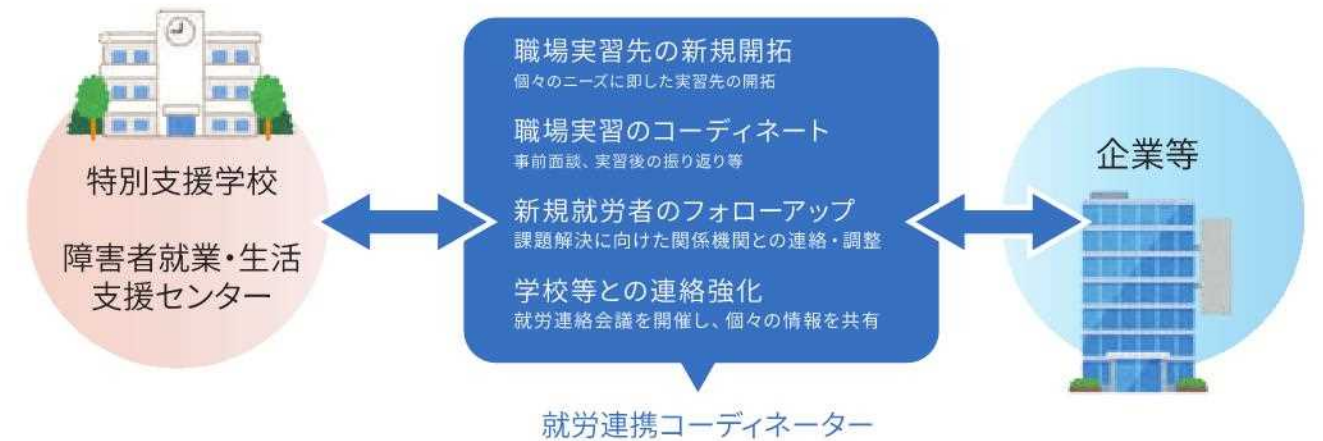
農福連携に関する知識・技能をもつ人材を育成するための研修会を実施します。

活躍する 就労連携/農福連携 コーディネーター



奈良県では、障害のある人の就労の拡大を図るために、就労連携コーディネーターを障害福祉課に3名配置しています。企業等へ訪問し、信頼関係を構築・維持するとともに、職場実習受け入れ企業等の拡大及び継続的な受入の調整などを行っています。また、農業分野での就労を促進するために、農福連携コーディネーターを令和2年4月より障害福祉課に1名配置しています。

就労連携コーディネーターの活動



県立特別支援学校や県立高等技術専門学校及び障害者就業・生活支援センターと就業連携会議を定期的に開催して情報共有を行っています。



障害のある方が就労するにあたり、十分な職場実習と事前学習を行うことで、戦力として社会に送り出すことが私たちの役割であり、責務であると思っています。



多くの障害のある方に雇用の場を提供するとともに、企業等で働いている方々に障害のある人とともに働く意義を見出していけるよう様々な情報提供していただければと思います。



障害のある方が、希望した職場で長く働くことができ、充実した人生を送っていただけるような様々な情報提供していきたいと思っています。

障害のある人の就労・生活支援

～障害者就業・生活支援センターの役割～

業務の内容

職業生活における自立を図るために就業及びこれに伴う日常生活、または社会生活上の支援を必要とする障害のある人に対し、雇用、医療・保健、福祉、教育等の関係機関との連携を図りつつ、身近な地域において必要な指導、助言その他の支援を行います。

就業面での支援

- 就業に関する相談支援
 - ・ 就職に向けた準備支援(職業準備訓練、職場実習のあっせん)
 - ・ 就職活動の支援
 - ・ 職場定着に向けた支援
- 障害特性を踏まえた雇用管理について、事業所等への助言
- 関係機関との連絡調整

生活面での支援

- 日常生活・地域生活に関する助言
 - ・ 生活習慣の形成、健康管理、金銭管理等の日常生活の自己管理に関する助言
 - ・ 住居、年金、余暇活動など地域生活、生活設計に関する助言
- 関係機関との連絡調整



奈良県内の障害者就業・生活支援センター

ご本人の居住地や事業所の所在地に応じて県内5ヶ所にて相談を受け付けています。



障害者はたらく応援団なら

奈良労働局と共同で運営する「障害者はたらく応援団なら」は、意見交換会の開催、職場実習の実施、就労支援セミナーの開催等、官民が一体となって一般企業等への障害者就労を支援する取組を行っています。

登録企業・団体等の皆様にご協力をお願いしている3つの応援

職場実習拡大への応援

職場実習先の提供

- 職場実習の積極的な受入等
- 障害者雇用ノウハウの提供

障害者理解への応援

各種取組の実施

- 障害者雇用に向けた周知・啓発
- まほろば「あいサポート運動」への参加、実施

働き続けるための応援

職場定着への支援

- 支援機関と連携した職場定着支援
- 個別ケースへの助言

登録企業一覧

※奈良県内で雇用保険の加入手続きを行っている事業所

■ 製造業	ケイミュー(株)奈良テクノセンター(外壁材製造) (株)ジェイテクト 奈良工場(自動車部品製造) 奈良積水(株)(積水ブランドのユニットバス部品の製造) セキスイハイム工業(株)近畿事業所(住宅製造) GMB(株)(自動車部品製造) 第一化工(株)(各種プラスチック製品の製造) 天龍化学工業(株)(合成樹脂製品の製造) シンワ精機(株)(機械部品製造) 光洋機械工業(株)結崎工場(自動車部品製造) 福西メリヤス(株)(靴下製造)	■ 医療・福祉業	(福)奈良市社会福祉協議会(介護保険等社会福祉に関する事業) (福)万葉福祉会 万葉苑(特別養護老人ホーム) (福)萌(障害福祉サービス事業) (福)ぶろぼの(障害福祉サービス事業) ヒューマンヘリテージ(株)(各種介護サービス等) (福)三寿福祉会(各種介護サービス等) (株)ハートフルコープよしの(障害福祉サービス事業) (福)仁南会(各種介護サービス等) (医)清和会(各種介護サービス等) (福)奈良市和楽園(各種介護サービス等)
■ 製造販売業	佐藤薬品工業(株)(医療品製造販売) タビオ奈良(株)(靴下卸・販売) ラック産業(株)(繊維製品卸・販売) (株)呉竹(墨、書道、筆記用具等の製造・販売)	■ 農産物加工業	(株)ハートフルコープなら(農産物の加工:ならコープ特例子会社)
■ 金融業	奈良中央信用金庫(金融機関) (株)南都銀行(金融機関)	■ 酪農業	植村牧場(株)(酪農、乳製品製造・販売)
■ 旅客運送業	奈良交通(株)(旅客自動車運送)	■ 物品リース業	小山(株)(寝具等リース・販売)
■ 宿泊業	(株)奈良ホテル(宿泊施設) (株)マイステイズ・ホテル・マネジメント【奈良ロイヤルホテル】(宿泊施設) (株)ホテルマネジメント【ホテル日航奈良】(宿泊施設)	■ ビルメンテナンス業	アスカ美装(株)(総合的ビルメンテナンス業務) (株)KBS(総合的ビルメンテナンス業務) (株)シティサービス(総合的ビルメンテナンス業務)
■ 小売業	(株)いそかわ(スーパーマーケット) 市民生活協同組合ならコープ(共同購入販売)	■ その他事業	(株)CWS(個配物流システム業務等) なんとチャレンジド(株)(対事業所サービス業:南都銀行特例子会社)
■ 飲食サービス業	(株)アドバンス(日本マクドナルド株式会社フランチャイジー)	■ 県外企業	※奈良県外で雇用保険の加入手続きを行っている事業所
■ 印刷業	(株)アイプリコム(各種紙媒体の制作・印刷)	■ 小売業	イオンリテール(株)(総合小売) (株)エーコープ近畿(生鮮食品を中心としたスーパーマーケット) (株)近商ストア(総合スーパーマーケット)
■ 医療・福祉業	ウェルコンサル(株)(各種介護サービス等) (福)恩賜財団済生会中和病院(病院・老人保健施設) (福)うねび会(各種介護サービス等) (福)共同福祉会(各種介護サービス等) (福)清光会(各種介護サービス等)	■ 飲食サービス業	スターバックス コーヒー ジャパン(株)(コーヒー及び関連製品の販売)
		■ 製造販売業	富士ゼロックス大阪(株)(複写機などの各種情報機器販売)
		■ 宅配業	ヤマト運輸(株)(宅配便等)

(令和2年9月現在 計53社)

障害者雇用に関する優良な取り組みを行う 中小事業主への認定制度を始めました!

「障害者雇用に関する優良な中小事業主に対する認定制度」は、厚生労働大臣が障害者の雇用の促進や安定に関する取り組みなどの優良な中小企業を認定する制度です。

認定事業主となることのメリット

認定マークを使用できます!

自社の商品・サービス・広告などのほか、ハローワークの求人票に障害者雇用優良中小事業主認定マークを表示することができます。

日本政策金融公庫の 低利融資対象となります!

日本政策金融公庫の「働き方改革推進支援資金」の低利融資の対象となります。障害者雇用の取り組みに必要な設備資金や長期運転資金に使用できます。詳細は日本政策金融公庫へお問い合わせください。

厚生労働省・都道府県労働局・ハローワーク による周知広報の対象となります!

厚生労働省と都道府県労働局のホームページに掲載され、社会的認知度を高めることができます。また、認定事業主に限定した合同説明会などを企画する場合があります。御社の魅力を広くアピールすることができ、求職者からの応募が増加が期待できます。

公共調達などの加点評価を 受けられる場合があります!

地方公共団体の公共調達および国と地方公共団体の補助事業の加点評価を受けることができる場合があります。詳しくは公共調達などを実施している地方公共団体などにお問い合わせください。

障害者雇用優良中小事業主の認定基準項目

- ①評価基準に基づき、20点(特定子会社は35点)以上得ること(取り組み関係で5点以上、成果関係で6点以上、情報開示関係で2点以上を得ること)
 - ②法定雇用率を達成していること。雇用義務がない場合でも、雇用率制度の対象となる障害者※を1名以上雇用していること
※就労継続支援A型事業所の利用者は除く
 - ③過去に認定を取り消された場合、取り消しの日から起算して3年以上経過していること
 - ④障害者雇用促進法と同法に基づく命令その他の関係法令に違反する重大な事実がないこと
- ※この他にも条件がありますので、詳細は厚生労働省ホームページをご覧ください。また、都道府県労働局、ハローワークへお問い合わせください。

障害者雇用の促進と安定について

この認定制度を通じて、企業の社会的認知度を高めるとともに、地域で認定を受けた事業主が障害者雇用の身近なロールモデルとして認知され、地域全体の障害者雇用の取り組みが一層推進されることが期待できます。

また障害者雇用の促進と雇用の安定を図ることで、組織における多様性が促進され、女性や高齢者、外国人など、誰もが活躍できる職場づくりにつながります。



「認定事業主」になるには都道府県労働局またはハローワークに申請が必要です

認定の申請は、必要書類を主たる事務所を管轄する都道府県労働局またはハローワークに提出してください。必要書類は厚生労働省ホームページからダウンロードできます。審査の結果、認定基準を全て満たしていることが確認された場合は、各都道府県労働局から認定通知書を交付します。なお、認定審査には三か月ほどお時間をいただいています。



詳しくは、都道府県労働局、ハローワークへお問い合わせください。

障害者雇用優良中小事業主 検索

令和3年3月1日から 障害者の法定雇用率が引き上げになります

障害に関係なく、希望や能力に応じて、誰もが職業を通じた社会参加のできる「共生社会」実現の理念の下、すべての事業主には、法定雇用率以上の割合で障害者を雇用する義務があります(障害者雇用率制度)。この法定雇用率が、令和3年3月1日から以下のように変わります。

事業主区分	法定雇用率	
	現行	令和3年3月1日以降
民間企業	2.2% ⇒	2.3%
国、地方公共団体等	2.5% ⇒	2.6%
都道府県等の教育委員会	2.4% ⇒	2.5%

また併せて、下記の点についてもご注意ください。よろしくお願いいたします。

留意点 対象となる事業主の範囲が、従業員43.5人以上に広がります。

▶ 従業員43.5人以上45.5人未満の事業主の皆さまは特にご注意ください。

今回の法定雇用率の変更に伴い、障害者を雇用しなければならない民間企業の事業主の範囲が、従業員45.5人以上から43.5人以上に変わります。また、その事業主には、以下の義務があります。

- ◆ 毎年6月1日時点の障害者雇用状況をハローワークに報告しなければなりません。
- ◆ 障害者の雇用の促進と継続を図るための「障害者雇用推進者」を選任するよう努めなければなりません。

令和2年の奈良県の障害者実雇用率は、2年連続で

全国第1位になりました。

令和2年の障害者雇用状況報告(6月1日現在)の全国集計の結果、奈良県内の民間企業における実雇用率が、2.83%で、前年より0.04ポイント増加し、2年連続で全国1位を維持しました。それぞれの民間企業や行政、就労関係機関等が連携し、障害者雇用にかかわる様々な取組を進めてきた成果の表れであると確信しています。皆様に感謝申し上げますとともに、引き続き、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

(令和3年1月18日発表)

厚生労働省・都道府県労働局・ハローワーク